

琵琶湖保全再生施策に関する計画第2期(案)への主なご意見と対応案について
 【令和2年10月6日滋賀県議会琵琶湖・気候変動対策特別委員会以降】

資料1-5

整理番号	ページ	箇所	ご意見	対応(案)
1	1	2(1)趣旨	<p>「…琵琶湖北湖の全層循環の未完了とそれに伴う北湖深水層の貧酸素状態の長期化や、琵琶湖南湖における植物プランクトンの特異的な増殖等、琵琶湖だけでなく琵琶湖下流域にも影響を与えかねない課題も生じてきている。」とあるが、何が特異的なのがわかりにくい。読む人がわかりやすい表現にするべき。</p>	<p>この箇所は、平成30年度に猛暑・少雨によりアオコを形成する植物プランクトン(アナベナ・アフィニス)が大増殖し、南湖のCODの8月測定値が過去最高となったことを念頭においていることを踏まえ、以下のとおり修正します。</p> <p>『…琵琶湖南湖におけるアオコを形成する植物プランクトンの特異的な大増殖等、琵琶湖だけでなく琵琶湖下流域にも影響を与えかねない課題も生じてきている。』</p> <p>併せて9ページの「4 琵琶湖保全再生施策の実施に資する調査研究に関する事項」を以下のとおり修正します。</p> <p>『…琵琶湖南湖におけるアオコを形成する植物プランクトンの特異的な大増殖等、…』</p>
2	5	3(3)②イ 外来動物対策	<p>チャネルキャットフィッシュが増加しているため「徹底的な防除を実施する」とあるが、以前も指摘したが、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会のマスコットキャラクターであるチャップフィーがチャネルキャットフィッシュを連想させ、うまく防除できずに大問題となってしまうと、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会のイメージが悪くなるのではないか。</p>	<p>チャップフィーは、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会のマスコットキャラクターであるチャップフィーと同じく琵琶湖の固有種であるビワコオオナマズをモチーフにしたマスコットです。愛称はチャップフィーと合わせて「キャッチ」、人の心をキャッチするという意味が込められています。</p> <p>いただいたご意見について庁内で共有するとともに、ご懸念されていることにならないよう調整してまいります。</p>
3	5	3(3)④ア 水草の除去等	<p>「水草を摂食するワタカなど環境保全に役立つ在来魚の放流を推進する。」とあるが、水草対策として効果はあるのだろうが、漁業者からワタカが増えすぎて困っているという声もあるので、「ワタカ」という文言を削除することはできないか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。</p> <p>『・水草を摂食するワタカなど環境保全に役立つ在来魚の放流を推進する。』 (「ワタカ」を削除)</p>

整理 番号	ページ	箇所	ご意見	対応(案)
4	6	3(3)④イ 湖岸漂着ごみ等の処理	琵琶湖のプラスチックごみ対策について、発生抑制だけでは不十分である。琵琶湖の湖中や湖底に現存するプラスチックごみの回収についても謳うべきではないか。	プラスチックごみ対策について、陸域に発生したごみは河川等を通じ琵琶湖に流出していることから、まずはごみを出さないライフスタイルへの転換を図るとともに、散在性ごみの流出防止など発生抑制に向けた取組が必要であり、「(仮称)滋賀プラスチックごみゼロに向けた実践取組のための指針」を今年度策定し、対策を一層進めているところ。湖中や湖底のプラスチックごみの回収については、琵琶湖は広大で、水深も深く、ただちに対策を行うことは予算的・物理的に非常に困難であることから原案のとおりとしますが、ご意見をいただいている「漁網に掛かるプラスチックごみの回収」を含め、今後の対応の可能性については、庁内や市町と検討してまいります。
5	6	3(3)④イ 湖岸漂着ごみ等の処理	プラスチックごみは、環境中に排出されることが問題であるので、発生抑制に加えて適正処理について位置付けられないか。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 『・琵琶湖におけるプラスチックごみやマイクロプラスチックの増加を防止するため、プラスチックごみの発生抑制や適正処理に向けた取組を実施する。』
6	7	3(5)②ウ 水産動物の種苗放流	「水産動物」の種苗放流とあるが、この表現でなければならないのか。	魚類だけでなく貝類なども含まれることから「水産動物」としていません。
7	8	3(5)②オ 琵琶湖や河川における 漁業の持続的発展	「漁業の持続的発展」の中に新規漁業就業者について記載されているが、水産業の大きな問題は水産資源の減少と担い手の減少であり、担い手育成について、よりしっかりと記載するべきではないか。	本計画は琵琶湖の保全再生に関する総合的な計画であり、県および市町が実施すべき施策をできるだけ端的に記載しています。具体的内容については、農業水産業基本計画に記載していきます。

整理番号	ページ	箇所	ご意見	対応(案)
8			<p>「観光、交通その他の産業に関する事項」の部分に記載されている施策を推進すると環境への負荷が増えるのではないか。「環境に配慮しながら行動いただく」ということを記載するべき。観光客のニーズにあった観光振興を全面に出すはいかがかと思う。</p>	
9			<p>琵琶湖の保全で滋賀県として先進的な取組を進めている中で観光との関わり方は大切であると考えている。琵琶湖は滋賀県にとって大きな魅力の一つであるが、ジェットスキーが走り回っているという現状もあり、保全と活用をどのように両立するかは大きな課題である。この部分の記載は十分に検討してほしい。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「3(5)③イ 琵琶湖の特性を活かした観光振興等」を以下のとおり修正します。</p>
10	8	3(5)③イ 琵琶湖の特性を活かした観光振興等	<p>琵琶湖疏水は令和2年6月に日本遺産認定を受け、申請に際して策定した地域活性化計画の中で、疏水を通じた持続可能な地域の活性化や、琵琶湖と人々の共生関係の構築を目的としているため、以下のとおり追記すべき。</p> <p>『エ 琵琶湖疏水を活かした観光振興 ・琵琶湖の水の恵みは、日本遺産として認定された琵琶湖疏水を通じて100年に渡って京都に潤いをもたらしている。その魅力を今に伝えるとともに、京都と大津をつなぐ交通手段として活用し得る疏水通船の事業推進を図ることで、琵琶湖に対する理解と関心を深め、環境負荷の軽減につなげる。さらには、大津港までの航路延伸を支援することで、湖上交通との連携を図る。』</p>	<p>『・琵琶湖の美しい風景や生活文化は、四季や時間の移ろいの中で様々な表情を持っている。その魅力をルールやマナーを守り、環境に配慮しながら楽しむことにより琵琶湖についての学びを深めるため、湖上スポーツやナショナルサイクルルートに指定されたピワイチなど琵琶湖と親しむスポーツや、を進める。あわせて、日本遺産として認定された「琵琶湖とその水辺景観 祈りと暮らしの水遺産」や「京都と大津を繋ぐ希望の水路 琵琶湖疏水一舟に乗り、歩いて触れる明治のひとつとき」をはじめの取組を進めるなど、琵琶湖の特性を活かしつつ、観光客等のニーズにあった観光等を推進する。』</p>
11			<p>文が長く、わかりにくくなっているため、区切るなどして整理してほしい。</p>	

整理番号	ページ	箇所	ご意見	対応(案)
12	9	4 琵琶湖保全再生施策の実施に資する調査研究に関する事項	<p>全層循環未完了は熱収支・流体力学(水理学も含まれる)、植物プランクトンの増殖は生態学に関する現象なので、「水理・水質現象」はフィットしない。「未経験の現象」で良いと思う。以下のとおり修正してどうか。</p> <p>『・琵琶湖北湖の全層循環の未完了とそれに伴う北湖深水層の貧酸素状態の長期化や、琵琶湖南湖における植物プランクトンの特異的な増殖等、気候変動の影響と考えられる未経験の水理・水質現象が確認されていることから、…』</p>	<p>ご意見のとおり修正します。</p> <p>なお、この箇所全体としては以下のとおり修正しています。</p> <p>『・琵琶湖北湖の全層循環の未完了とそれに伴う北湖深水層の貧酸素状態の長期化や、琵琶湖南湖におけるアオコを形成する植物プランクトンの特異的な増殖等、気候変動の影響と考えられる未経験の水理・水質現象が確認されていることから、…』</p>
13	9	5(1)① 多様な主体の協働と交流の推進	「後押し」を「協働し」に修正するなど記述をもう少し強めるべき。	<p>ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。</p> <p>『・多様な主体による琵琶湖の保全および再生に向けた主体的な取組を後押しし、目標に向かい協働することで適切な環境への関わりを創出するため、マザーレイクゴールズの推進体制を構築する。』</p>
14	10	7(2) 財源の確保の検討に関する事項	琵琶湖から恩恵を受けている人、余暇を楽しんだり、生活向上のために琵琶湖を活用されている方に対しては一定の受益者負担をお願いする必要があるのではないか。昨年度も活用に係る負担について検討されたようだが引き続き腰を入れて検討するべき。	ご指摘の点については、「7(2) 財源の確保の検討に関する事項」で位置付けており、引き続き検討してまいります。
15	10	7(5) 新型コロナウイルス感染症への対応に関する事項	「琵琶湖保全再生施策の実施に当たっては、必要に応じ、「新しい生活様式」を取り入れる。」とあるが、具体的にどのようなことを想定しているのか。イメージができないので、具体例を交えてできるだけ詳しく記載いただきたい。	<p>ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。</p> <p>『・観光や体験学習などウィズコロナ、ポストコロナを見据えた琵琶湖保全再生施策の実施に当たっては、琵琶湖をはじめとする豊かな自然を有する滋賀県の強みを活かしつつ、必要に応じ、密閉・密集・密接の防止や衛生対策を実施するなど、「新しい生活様式」を取り入れるに<u>対応するものとする。</u>』</p>
16	10	7(5) 新型コロナウイルス感染症への対応に関する事項	「必要に応じ、密閉・密集・密接の防止や衛生対策を実施するなど、…」の部分がわかりにくい。「観光や環境学習において」など文言を補ってどうか。	

整理番号	ページ	箇所	ご意見	対応(案)
17	-	-	治水や森林の分野も含めて琵琶湖を中心に様々な課題があるので、第2期計画の推進に当たっては、県民や県外の方々に琵琶湖の意義をより知っていただけるような取組を実施いただきたい。	ご指摘の点については、「6(3) 広報・啓発の実施」において位置付けており、県民や県外の方々に琵琶湖の意義をより知っていただけるよう、次期計画期間においても引き続き取り組んでまいります。
18	-	-	現行計画策定時にKPIを設定しなかったが、今回も設定することはしないのか。計画の中で位置付けができないのであれば、実行の段階でKPIを定める方がより施策が進むと考える。	本計画は琵琶湖の保全再生に関する総合的な計画であり、個別計画において別途指標が設定されていることから指標は設定しません。個別計画で設定されている指標のうち、琵琶湖に関するものを「計画のフォローアップ報告書」でとりまとめており、今後はこの報告書等に記載しているデータを把握していくことで、施策の推進状況をモニタリングしてまいります。また、琵琶湖の状態については、マザーレイク21計画を引き継ぐ新たな枠組み「マザーレイクゴールズ」において、進行管理の仕組みを構築し、把握・評価を行ってまいります。
19	-	-	従来の水質指標を達成しても、生態系の回復にはつながらないということを滋賀県から発信するべき。	ご指摘の点については、生態系と水質のつながりに着目した新たな水質管理手法の構築の検討において実施しており、次期計画期間においても引き続き取り組んでまいります。